

次世代ものづくり技術の研究開発に対応する新たな研究施設 (仮称)ものづくりイノベーションセンターの整備について

岩手県工業技術センター(理事長 齋藤淳夫)は、次世代ものづくり技術の研究・開発や試験・評価に対応する新たな研究施設を整備します。

本施設は、自動車・半導体等の本県中核産業分野や医療機器・航空機産業などのものづくり成長分野への進出に向けた技術支援体制の強化を目的として、国際規格に対応した電子機器の測定・評価、三次元デジタルものづくり技術を活用した設計・試作等の機能を備え、広く県内企業の皆様にご利用いただける開放型研究施設として整備いたします。

なお、本施設は、岩手県が推進する産業競争力強化支援拠点整備計画に基づき、国の地方創生拠点整備交付金により整備するものです。

完成イメージ



施設の概要

名称	(仮称)ものづくりイノベーションセンター
事業費	12.4億円
事業期間	H29年3月～H30年3月(予定)
整備内容	研究棟 : 地上1階、延べ面積 約 1,760㎡ 設備 : 大型電波暗室(10m法対応)、試験研究機器の設置(10機種予定)



※ ご不明な点がございましたら、電話またはメールにてお問い合わせください。

地方独立行政法人岩手県工業技術センター

<http://www.pref.iwate.jp/~kiri/>

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2-4-25 TEL:019-635-1115 FAX:019-635-0311

E-mail: CD0002@pref.iwate.jp

担 当: 企画支援部長 富手 壮一



新たな研究施設
整備による
拠点機能強化

次世代ものづくり
ラボ開所

三次元金属積層
造型装置導入



三次元積層造形
技術研究員
育成スタート

県単独事業

戦略分野オープン
イノベーション
環境整備事業

地方創生
推進交付金

地方創生
拠点整備交付金

平成26年度

平成27年度

平成28年度

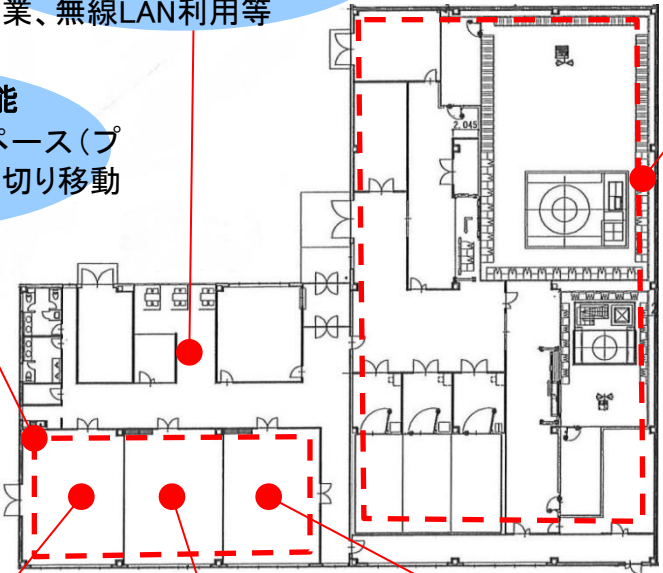
平成29年度

(仮称)ものづくりイノベーションセンターに盛り込む機能

コミュニケーションスペース
開発技術の展示、技術打
合せ、測定データまとめ作
業、無線LAN利用等

電子機器設計・試作・評価機能
10m法電波暗室(国際規格
対応、利用企業のプライバ
シー保護強化、電気自動
車測定可能)等

オープンラボ機能
企業との共同研究スペース(プ
ロジェクトに合わせて間仕切り移動
可能)



3Dデジタルものづくり機能
3D設計・シミュレーション等

新素材開発・評価機能
金属3Dプリンタ用材料評価等

IoT・ロボット開発機能
IoT機器等試作評価等